

高橋喜代史 抵抗の美術史 を語る

札幌の現代美術家・高橋喜代史さんによるアートトークを開催します。高橋さんは、言葉をモチーフにした映像や立体造形、パフォーマンス作品などで知られ、2020年に第3回本郷新記念札幌彫刻賞を受賞。近年は、弘前れんが倉庫美術館「どうやってこの世界に生まれてきたの？」展、北海道立近代美術館「星の瞬間」展、国立国際美術館（大阪）特別展「非常の常」のほか、フランス・ドイツなど海外でも活躍されています。今回は自作のキーワードにもなっている「抵抗の美術史」についてお話しいたします。

北海道芸術学会は、2000年代にシアターキノ隣のキノカフェで、アーティストなどにレクチャーをしていただき、そのあと参加者とともに飲食をまじえて交流し、議論を深め、アーティストとの出会いの場として有意義な時間を過ごしました。その意義を大切に、2019年以来中断していた〈北海道芸術学会アートトーク〉を復活させることになりました。今回が再開第一弾となります。



高橋喜代史《SIGNAL》より 2017/movie/8:47

2025年8月1日 [金]

19:00~21:30 (交流会を含め)

参加無料。北海道芸術学会員でなくても参加できます。

大人座 [札幌市中央区南1西1 板谷ビル8F]

レクチャー後の対話：高橋喜代史

樋泉綾子 [札幌芸術の森美術館 学芸員]

交流会：同じ会場で引き続き行います。参加無料。

飲みたいもの、食べたいものを各自持ち寄りをお願いします。



高橋喜代史 TAKAHASHI Kiyoshi

美術家/一般社団法人PROJECTA 代表理事。1974年北海道生まれ。「抵抗の美術史」の系譜に連なり、パフォーマンスや言葉を用いた映像作品や立体作品を制作。近年は、社会問題と個人的な感情を重ね合わせた映像インスタレーションや、言葉の多面性を立体化した作品を発表している。フランス・ニュージーランド・北アイルランドでの個展や、カナダ・ドイツ・中国でのグループ展など、札幌を拠点に国内外で活動している。2022年第2回KYOBASHI ART WALL優秀賞。2020年第3回本郷新記念札幌彫刻賞。2010年JRタワーアートボックス最優秀賞。2000年ビッグコミックスピリッツ努力賞。1995年ヤングマガジン奨励賞。2012年より「500m美術館」「PARC」「Sapporo Parallel Museum」など展示会の企画も行うほか、眺望ギャラリー「テラス計画」やアートとまちづくりの学校「Think School」の企画運営にも携わる。2015年一般社団法人PROJECTAを設立。2017年よりnaebono art studio運営メンバー。

Instagram: @kiyoshit <https://takahashikiyoshi.com/> takahashikiyoshi.com

